

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2016年9月22日(22.09.2016)



(10) 国際公開番号

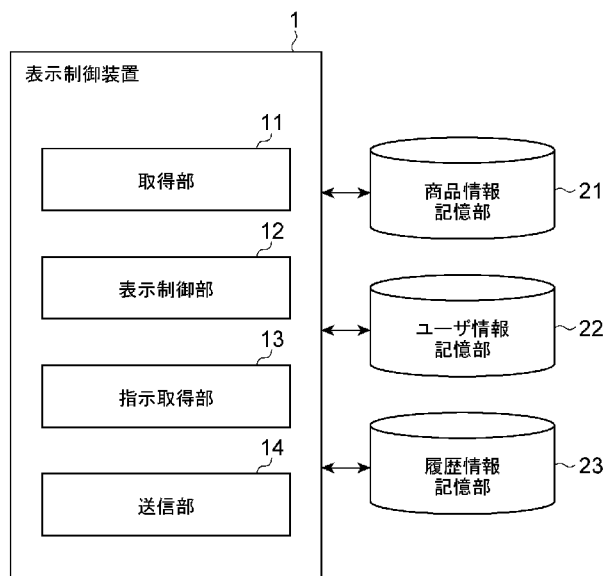
WO 2016/147383 A1

- (51) 国際特許分類:
G06F 3/048 (2013.01) *G09G 5/00* (2006.01)
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2015/058270
- (22) 国際出願日: 2015年3月19日(19.03.2015)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (71) 出願人: 楽天株式会社(RAKUTEN, INC.) [JP/JP]; 〒1580094 東京都世田谷区玉川一丁目14番1号 Tokyo (JP).
- (72) 発明者: 益子 宗(MASUKO Soh); 〒1580094 東京都世田谷区玉川一丁目14番1号 楽天株式会社内 Tokyo (JP). 牟田 将史(MUTA Masafumi); 〒1580094 東京都世田谷区玉川一丁目14番1号 楽天株式会社内 Tokyo (JP).
- (74) 代理人: 長谷川 芳樹, 外(HASEGAWA Yoshiki et al.); 〒1000005 東京都千代田区丸の内二丁目1番1号丸の内 MY PLAZA (明治安田生命ビル) 9階 創英国際特許法律事務所 Tokyo (JP).
- (81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IR, IS, JP, KE, KG, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW.
- (84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, ST, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE,

[続葉有]

(54) Title: DISPLAY CONTROL SYSTEM, DISPLAY CONTROL METHOD AND DISPLAY CONTROL PROGRAM

(54) 発明の名称: 表示制御システム、表示制御方法及び表示制御プログラム



- 1 Display control device
11 Acquisition unit
12 Display control unit
13 Instruction acquiring unit
14 Transmitting unit
21 Product information storage unit
22 User information storage unit
23 History information storage unit

(57) Abstract: This display control system is provided with: an acquisition means for acquiring setting information which is set in a terminal with respect to a display mode of content in the terminal; and a display control means for setting, on the basis of the setting information, a display mode of at least a part of content displayed in another display device which is physically different from the terminal, and for displaying said content on the display device. Accordingly, content in a display mode suitable for a terminal user can be displayed on a display device without requiring effort from the user.

(57) 要約: 表示制御システムは、端末におけるコンテンツの表示態様に関して当該端末に設定されている設定情報を取得する取得手段と、前記端末と物理的に異なる表示装置に表示させる少なくとも一部のコンテンツの表示態様を前記設定情報に基づいて設定し、前記表示装置に該コンテンツを表示させる表示制御手段と、を備える。これにより、端末のユーザの手間を要せずに、そのユーザに合う表示態様のコンテンツを表示装置に表示させることが可能となる。

WO 2016/147383 A1



ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, 添付公開書類:

MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK,
SM, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ,
GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

— 国際調査報告 (条約第 21 条(3))

規則 4.17 に規定する申立て:

- 不利にならない開示又は新規性喪失の例外に
関する申立て (規則 4.17(v))

明 細 書

発明の名称：

表示制御システム、表示制御方法及び表示制御プログラム

技術分野

[0001] 本発明の一側面は、表示制御システム、表示制御方法及び表示制御プログラムに関する。

背景技術

[0002] 複数の人が視聴可能な環境に表示装置を設け、コンテンツを表示装置に表示させることが行われている。このような表示装置にコンテンツを表示させるシステムは、例えば、デジタルサイネージと称され、複数の商品広告等の表示に用いられる。複数のユーザが一つの映像を同時に視聴する環境下において、各ユーザの要求に個別に対応するために、映像に対応する字幕等を各ユーザの端末に同期表示させる技術が知られている（例えば、特許文献1参照）。

先行技術文献

特許文献

[0003] 特許文献1：特開2014-140135号公報

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0004] デジタルサイネージにコンテンツを表示させる場合に、言語等の表示態様を、コンテンツを視聴するユーザに合わせたいという要請がある。しかしながら、コンテンツを視聴するユーザが表示態様を変更するための操作を行うのは手間がかかる。また、コンテンツがユーザに合った態様で表示されていないことに起因して、そのユーザがコンテンツに対する興味を持たず、コンテンツがユーザに視聴されないおそれがある。

[0005] そこで本発明の一側面は、複数のユーザが視聴可能な表示装置に表示されるコンテンツを、ユーザの負担なくユーザに合う表示態様で表示させること

を目的とする。

課題を解決するための手段

- [0006] 上記課題を解決するために、本発明の一形態に係る表示制御システムは、端末におけるコンテンツの表示態様に関して当該端末に設定されている設定情報を取得する取得手段と、端末と物理的に異なる表示装置に表示させる少なくとも一部のコンテンツの表示態様を設定情報に基づいて設定し、表示装置に該コンテンツを表示させる表示制御手段と、を備える。
- [0007] 本発明の一形態に係る表示制御方法は、表示制御システムにおける表示制御方法であって、端末におけるコンテンツの表示態様に関して当該端末に設定されている設定情報を取得する取得ステップと、端末と物理的に異なる表示装置に表示させる少なくとも一部のコンテンツの表示態様を設定情報に基づいて設定し、表示装置に該コンテンツを表示させる表示制御ステップと、を有する。
- [0008] 本発明の一形態に係る表示制御プログラムは、コンピュータを表示制御システムとして機能させるための表示制御プログラムであって、コンピュータに、端末におけるコンテンツの表示態様に関して当該端末に設定されている設定情報を取得する取得機能と、端末と物理的に異なる表示装置に表示させる少なくとも一部のコンテンツの表示態様を設定情報に基づいて設定し、表示装置に該コンテンツを表示させる表示制御機能と、を実現させる。
- [0009] 上記側面によれば、端末に表示されるコンテンツの表示態様に関して当該端末に設定されている設定情報が取得され、取得された設定情報に基づく表示態様のコンテンツが表示装置に表示される。これにより、端末のユーザの手間を要せずに、そのユーザに合う表示態様のコンテンツを表示装置に表示させることが可能となる。
- [0010] 別の側面に係る表示制御システムでは、表示制御手段は、ユーザによる端末の操作によって、表示装置に表示されている第1のコンテンツに関連付けて表示される第2のコンテンツを表示する場合に、当該第2のコンテンツを設定情報に基づいて変更した表示態様で表示させることとしてもよい。

- [0011] 上記側面によれば、第2のコンテンツの表示態様が、取得された設定情報に基づく表示態様に変更されるので、ユーザの負担なく第2のコンテンツをユーザに合う表示態様で表示させることが可能となる。
- [0012] さらに別の側面に係る表示制御システムでは、表示制御手段は、第1のコンテンツ、第2のコンテンツ及び第1のコンテンツに関連付けられたコンテンツであって表示装置に表示させる対象ではない第3のコンテンツのうちの少なくとも一つのコンテンツの表示態様を、設定情報に基づく表示態様に設定し、表示制御手段により表示態様を設定された第1のコンテンツ、第2のコンテンツ及び第3のコンテンツのうちの少なくとも一つのコンテンツを端末に送信する送信手段を更に備えることとしてもよい。
- [0013] この側面によれば、ユーザの端末に表示させるコンテンツの表示態様が設定情報に基づいて設定されるので、ユーザに合う表示態様のコンテンツをユーザの負担なく端末に表示させることが可能となる。
- [0014] さらに別の側面に係る表示制御システムでは、取得手段は、端末から送信されるウェブページの取得の要求と共に端末から送信される設定情報を取得し、設定情報に応じて表示態様が設定されたウェブページが要求に応じて前記端末に提供されることとしてもよい。
- [0015] 上記側面によれば、端末に提供されるウェブページの言語を特定するための情報を、表示装置に表示させるコンテンツの表示態様を特定するための設定情報として流用できる。
- [0016] さらに別の側面に係る表示制御システムでは、取得手段により、端末から第1の設定情報が取得され、端末から取得されたユーザの識別情報に基づき該識別情報に対応付けられた第2の設定情報が取得された場合に、表示制御手段は、予め設定された表示態様の選択に関する条件に基づいて、第1の設定情報に基づく表示態様及び第2の設定情報に基づく表示態様のいずれかの表示態様でコンテンツを表示させることとしてもよい。
- [0017] この側面によれば、第1及び第2の設定情報が取得された場合に、予め設定された表示態様の選択に関する条件に基づきコンテンツの表示態様が決定

されるので、ユーザに対してより適切である蓋然性が高い表示態様でコンテンツを表示させることが可能となる。

[0018] さらに別の側面に係る表示制御システムでは、取得手段は、複数の端末の各々から設定情報を取得し、表示制御手段は、複数の設定情報に示される複数の表示態様のうち最も多い表示態様でコンテンツを表示装置に表示させることとしてもよい。

[0019] この側面によれば、複数の端末から取得された設定情報に示される複数の表示態様のうち最も多い表示態様に、表示装置に表示されるコンテンツの表示態様が設定される。これにより、複数のユーザのうちの多くのユーザに合った表示態様でコンテンツを表示させることができる。

[0020] さらに別の側面に係る表示制御システムでは、取得手段は、複数の端末の各々から設定情報を取得し、表示制御手段は、複数のコンテンツを表示装置に表示させ、複数のコンテンツの表示態様は、取得された複数の設定情報に含まれる各表示態様の割合に基づいて設定されることとしてもよい。

[0021] この側面によれば、複数のコンテンツを表示装置に表示させるに際して、複数の端末から取得された設定情報に含まれる表示態様の割合が、表示される複数のコンテンツの表示態様に反映される。これにより、複数のユーザに合った表示態様でコンテンツを表示させることができる。

[0022] さらに別の側面に係る表示制御システムでは、設定情報により特定される表示態様は、コンテンツを表す言語に関することとしてもよい。

[0023] この側面によれば、ユーザに合った言語でコンテンツを表示させることが可能となる。

発明の効果

[0024] 本発明の一側面によれば、複数のユーザが視聴可能な表示装置に表示されるコンテンツを、ユーザの負担なくユーザに合う表示態様で表示させることが可能となる。

図面の簡単な説明

[0025] [図1]本実施形態に係る表示制御システムを含むシステムの構成を示す図であ

る。

[図2]表示制御装置の機能的構成を示すブロック図である。

[図3]表示制御装置のハードウェア構成を示す図である。

[図4]端末の機能的構成を示すブロック図である。

[図5]表示装置に表示された画面の例を示す図である。

[図6]商品情報記憶部の構成及び記憶されているデータの例を示す図である。

[図7]ユーザ情報記憶部の構成及び記憶されているデータの例を示す図である。

。

[図8]表示装置に表示された画面の例であって、カーソルにより商品画像が指示された状態を示す図である。

[図9]表示装置に表示された画面の例であって、商品レビューが商品画像に関連付けられて表示されている状態を示す図である。

[図10]端末の端末情報記憶部の構成及び記憶されているデータの例を示す図である。

[図11]表示制御方法の処理内容の例を示すフローチャートである。

[図12]表示制御方法の処理内容の他の例を示すフローチャートである。

[図13]表示制御プログラムの構成を示す図である。

発明を実施するための形態

[0026] 以下、添付図面を参照しながら本発明の実施形態を詳細に説明する。なお、図面の説明において同一又は同等の要素には同一の符号を付し、重複する説明を省略する。

[0027] 図1は、本実施形態に係る表示制御装置1を含むシステムの構成を示す図である。図1に示すように、表示制御装置1は、ネットワークNを介して、ウェブサーバ3及び複数の端末T1～T3と接続されている。また、表示制御装置1は、表示装置5にコンテンツを表示させることができる。

[0028] 本実施形態では、表示制御装置1及びウェブサーバ3により、表示装置5に表示させるコンテンツの表示制御等を行う表示制御システムが構成されるが、表示制御システムの装置構成は本実施形態の態様に限定されない。例え

ば、表示制御システムは、ウェブサーバ3を含まずに表示制御装置1のみで構成されることとしてもよい。

[0029] ウェブサーバ3は、端末Tのウェブブラウザにコンテンツを提供する機能を有する。本実施形態では、ウェブサーバ3は、端末Tにおけるカーソル等の指示入力を表示制御装置1に送信する機能、及び表示制御装置1からのコンテンツを端末Tに送信する機能を有する。

[0030] 表示装置5は、複数の端末Tのユーザが視聴可能な場所に設けられる装置であって、例えば、デジタルサイネージを構成する。デジタルサイネージは、画像及び文字等の情報を表示して、多くのユーザに情報を提供するためのものである。本実施形態では、表示装置5により構成されるデジタルサイネージは、端末Tのユーザに種々の情報を提供する。

[0031] 端末Tは、ユーザにより所持される装置であって、ウェブサーバ3を介して、コンテンツに対する指示入力を表示制御装置1に送信する。また、端末Tは、表示制御装置1からウェブサーバ3を介して提供されたコンテンツを画面に表示させる。

[0032] 端末Tは、例えば高機能携帯電話機（スマートフォン）により構成されるが、端末Tを構成する装置は限定されず、例えば携帯電話機、携帯情報端末（PDA）などの携帯端末、据置型又は携帯型のパーソナルコンピュータでもよい。なお、図1では、3台の端末T1～T3が示されているが、端末Tの数はこれに限定されない。

[0033] 図2は、表示制御装置1の機能的構成を示すブロック図である。表示制御装置1は、例えば、サーバにより構成される。

[0034] 本実施形態の表示制御装置1は、図2に示すように、機能的には、取得部11（取得手段）、表示制御部12（表示制御手段）、指示取得部13及び送信部14（送信手段）を備える。また、表示制御装置1の各機能部は、商品情報記憶部21、ユーザ情報記憶部22及び履歴情報記憶部23といった記憶手段にアクセス可能である。各記憶部21～23は、表示制御装置1によりネットワークNを介してアクセスされることとしてもよいし、表示制御

装置 1 内に設けられることとしてもよい。

[0035] 図 3 は、表示制御装置 1 のハードウェア構成図である。表示制御装置 1 は、物理的には、図 3 に示すように、プロセッサにより構成される CPU 101、RAM 及び ROM といったメモリにより構成される主記憶装置 102、ハードディスク等で構成される補助記憶装置 103、ネットワークカード等で構成される通信制御装置 104、入力デバイスであるキーボード、マウス等の入力装置 105、ディスプレイ等の出力装置 106 などを含むコンピュータシステムとして構成されている。

[0036] 図 2 に示した各機能は、図 3 に示す CPU 101、主記憶装置 102 等のハードウェア上に所定のコンピュータソフトウェア（表示制御プログラム）を読み込ませることにより、CPU 101 の制御のもとで通信制御装置 104、入力装置 105、出力装置 106 を動作させるとともに、主記憶装置 102 や補助記憶装置 103 におけるデータの読み出し及び書き込みを行うことで実現される。処理に必要なデータやデータベースは主記憶装置 102 や補助記憶装置 103 内に格納される。

[0037] 図 4 は、端末 T の機能的構成を示すブロック図である。端末 T は、指示入力受付部 31、指示情報送信部 32、設定情報送信部 33、コンテンツ受信部 34、表示制御部 35 及び端末情報記憶部 36 を備える。

[0038] まず、本実施形態の表示制御システムを概略的に説明する。本実施形態の表示制御システムでは、表示制御装置 1 は、デジタルサイネージを構成する表示装置 5 に複数の商品画像を表示させる。具体的には、表示制御部 12 は、商品情報記憶部 21 に記憶されている商品情報の商品画像を複数取得して、表示装置 5 に表示させる。図 5 は、表示装置 5 に表示された画面の例を示す図である。表示画面 DS は、例えば、複数の商品画像 M、及び説明表示部 MX を含む。説明表示部 MX は、例えば、表示画面 DS に表示された内容全体を説明するテキスト等を含む。

[0039] 表示装置 5 に表示された表示画面 DS を視聴しているユーザは、自分が所持する端末 T を用いて表示制御装置 1 にアクセスすることにより、表示画面

D Sに表示された商品に関するコンテンツを表示画面D Sに表示させたり、端末Tに表示させたりすることができる。このとき、端末Tまたは端末Tのユーザごとに設定された表示態様でコンテンツを表示させる。

[0040] 端末Tにおける表示制御装置1へのアクセスは、例えば端末Tにおいて実行されるブラウザにより実現される。端末Tのブラウザは、ウェブサーバ3を介して表示制御装置1に対するアクセスを行う。具体的には、端末Tのブラウザは、本実施形態の表示制御システムによる商品に関する情報の提供等のサービスを特定するURLにアクセスする。このURLは、種々の方法により端末Tに提供される。例えば、URLを示すQRコード（登録商標）を表示装置5の表示画面に表示させ、表示されたQRコードを端末Tが読み取ることにより、端末TはURLを取得する。

[0041] また、URLを表す情報が重畳された音声を、表示装置5の近傍において発生させることにより、端末TにURLを取得させることとしてもよい。また、端末Tから所定の電話番号に対するアクセスを行うと、そのアクセスに呼応してSMS（Short Message Service）等の通知手段により端末TにURLが提供されることとしてもよい。

[0042] また、表示装置5の近傍に存在する端末Tに対して、ブルートゥース（Bluetooth）（登録商標）等の近距離無線通信により、URLが提供されることとしてもよい。この場合には、端末Tは、近距離無線通信により表示制御装置1を識別するIDを取得する。そして、端末Tは、取得したIDに基づいて、当該表示制御システムに係るサービスを利用するためのアプリケーションにおいて管理されているIDとURLの関連付けを参照して、URLを取得できる。

[0043] なお、上記説明では、端末Tは、ブラウザにおいて実行されるブラウザアプリケーションにより表示制御装置1に対してアクセスすることとしているが、専用のアプリケーションにより表示制御装置1に対するアクセスを行うこととしてもよい。

[0044] 再び図2を参照して、表示制御装置1に各機能部の説明に先立って、商品

情報記憶部 2 1、ユーザ情報記憶部 2 2 及び履歴情報記憶部 2 3 を説明する。

[0045] 商品情報記憶部 2 1 は、表示装置 5 に表示させる商品の情報を記憶している記憶手段である。図 6 は、商品情報記憶部 2 1 の構成及び記憶されているデータの例を示す図である。図 6 に示すように、商品情報記憶部 2 1 は、商品を識別する商品 ID に関連付けて、商品名、画像、商品レビュー、詳細情報及びキャッシュされた商品レビューを記憶している。商品名は、商品の名称である。商品画像（第 1 のコンテンツの一例）は、当該商品を表す画像であって、表示装置 5 に表示させるために用いられる。

[0046] 商品レビュー（第 2 のコンテンツの一例）は、当該商品に関してユーザから投稿された商品に関するレビューである。後述するように、商品レビューは、商品画像に関連付けて表示装置 5 に表示される。詳細情報（第 3 のコンテンツの一例）は、当該商品に関する詳細な情報である。

[0047] また、後述するように、本実施形態の表示制御システムは、商品レビューを他の言語に翻訳して表示装置 5 に表示させる。そこで、商品情報記憶部 2 1 は、翻訳された商品レビューをキャッシュとして記憶する。

[0048] ユーザ情報記憶部 2 2 は、ユーザの端末 T において実行されるアプリケーション、及びユーザの端末 T に対して提供されるサービス等において、端末 T に表示されるコンテンツの表示態様に関する設定情報を記憶している記憶手段である。図 7 は、ユーザ情報記憶部 2 2 の構成及び記憶されているデータの例を示す図である。本実施形態では、ユーザ情報記憶部 2 2 は、ユーザを識別するユーザ ID に対応付けて、表示態様の設定情報として例えば言語に関する情報を記憶している。例えば、ユーザ情報記憶部 2 2 は、ユーザ ID 「B B B」に対応付けて設定情報としての言語「L 1」を記憶している。なお、表示制御装置 1 が設定情報を端末 T から取得可能な場合には、ユーザ情報記憶部 2 2 は、本実施形態の表示制御システムにおいて必須の構成ではない。

[0049] 履歴情報記憶部 2 3 は、所定の電子商取引サイト（図示せず）におけるユ

ーザの商品の購入履歴及び閲覧履歴等の履歴情報を記憶している記憶手段である。表示制御装置 1 は、履歴情報に基づいてユーザに提供するレコメンド情報を生成、又は、履歴情報に基づいて生成されたレコメンド情報を取得することができる。なお、履歴情報記憶部 23 は、本実施形態の表示制御システムにおいて必須の構成ではない。

[0050] 続いて、表示制御装置 1 の各機能部を説明する。取得部 11 は、端末 T におけるコンテンツの表示態様に関して当該端末 T に設定されている設定情報を取得する。具体的には、取得部 11 は、端末 T におけるコンテンツの表示態様を特定する設定情報を当該端末 T から取得する。この場合には、端末 T の設定情報送信部 33 が端末情報記憶部 36 から取得した設定情報を表示制御装置 1 に送信し、取得部 11 は、設定情報送信部 33 から送信された設定情報を取得する。

[0051] また、取得部 11 は、端末 T から当該端末 T のユーザを識別するユーザ ID を取得し、そのユーザ ID に対応付けられた設定情報を取得することとしてもよい。この場合には、取得部 11 は、ユーザ情報記憶部 22 を参照して、取得したユーザ ID に対応付けられている設定情報を取得する。

[0052] 本実施形態では、例えば、表示制御システムによる商品に関する情報の提供等のサービスを特定する URL に端末 T のブラウザ（端末の表示制御手段の一例）等がアクセスしたときに、設定情報またはユーザ ID が端末 T から送信される。この場合に、取得部 11 は、端末 T による URL アクセスを契機として送信される設定情報又はユーザ ID を取得することとしてもよい。

[0053] また、取得部 11 は、例えばブルートゥースといった所定の近距離無線通信により端末 T との通信が確立されたときに、その近距離無線通信を介して設定情報またはユーザ ID を取得することとしてもよい。

[0054] また、GPS (Global Positioning System) 等により測位された端末 T の位置情報が表示装置 5 から所定の距離以内となったことを契機として、端末 T から設定情報又はユーザ ID が送信されることとしてもよい。

- [0055] また、取得部 11 は、端末 T からの設定情報（第 1 の設定情報）及び端末 T から送信されたユーザ ID に基づく設定情報（第 2 の設定情報）の両方を取得してもよい。この場合には、後述するように、表示制御装置 1 は、第 1 及び第 2 の設定情報のいずれかの設定情報に基づく表示態様で、コンテンツを表示装置 5 に表示させる。
- [0056] また、取得部 11 は、複数の端末 T の各々から設定情報又はユーザ ID を取得することができる。
- [0057] 表示制御部 12 は、端末 T と物理的に異なる表示装置 5 に表示させる少なくとも一部のコンテンツの表示態様を、取得部 11 により特定された設定情報に基づいて設定する。そして、表示制御装置 1 は、設定された表示態様でコンテンツを表示装置 5 に表示させる。
- [0058] 具体的には、表示制御部 12 は、ユーザによる端末の操作によって、表示装置に表示されている第 1 のコンテンツに関連付けて表示される第 2 のコンテンツを表示する場合に、当該第 2 のコンテンツを設定情報に基づいて変更した表示態様で表示させる。
- [0059] 本実施形態では、まず、表示制御部 12 は、図 5 に示すように、表示装置 5 に商品情報記憶部 21 から取得した複数の商品画像 M（第 1 のコンテンツ）を表示させる。表示された商品画像 M のいずれかを指示する指示情報を端末 T から取得すると、表示制御部 12 は、指示された商品画像 M に関連付けて表示されるコンテンツ（第 2 のコンテンツ）を設定情報に基づいて変更した表示態様で表示させる。
- [0060] 具体的には、表示制御部 12 は、指示された商品画像 M に表された商品の商品レビュー（第 2 のコンテンツ）を設定情報に設定された言語で表示装置 5 に表示させる。なお、表示制御部 12 は、履歴情報記憶部 23 に記憶された履歴情報に基づくレコメンド情報を、商品レビューに代えて商品画像 M に関連付けて表示させることとしてもよい。この場合にも、レコメンド情報は、設定情報に基づく表示態様で表示される。
- [0061] また、表示制御部 12 は、送信部 14 により端末 T に送信されるコンテン

ツの表示態様を設定情報に基づいて設定することとしてもよい。具体的には、例えば、表示制御部 12 は、商品画像 M（第 1 のコンテンツ）、指示された商品の商品レビュー（第 2 のコンテンツ）及び当該商品の詳細情報（第 3 のコンテンツ）のうちの少なくとも一つのコンテンツの表示態様を取得部 11 により特定された設定情報に基づいて設定してもよい。

[0062] なお、履歴情報記憶部 23 に記憶された履歴情報に基づくレコメンド情報が、送信部 14 により端末 T に送信されることとしてもよい。この場合には、表示制御部 12 は、取得部 11 により特定された設定情報に基づいてレコメンド情報の表示態様を設定する。

[0063] また、端末 T からの設定情報及び端末 T から送信されたユーザ ID に基づく設定情報の両方が取得部 11 により取得された場合には、表示制御部 12 は、予め設定された表示態様の選択に関する条件に基づいて、いずれかの設定情報に基づく表示態様でコンテンツを表示させる。具体的には、表示制御部 12 は、複数の設定情報が取得された場合に、端末 T から取得された設定情報に基づいて変更した表示態様でコンテンツを表示させることとしてもよい。また、表示制御部 12 は、当該端末 T のユーザに提示されたコンテンツの表示態様のうち、直近の所定期間内に設定された表示態様、又は直近の所定期間内に最も多く設定された表示態様でコンテンツを表示させることとしてもよい。

[0064] また、表示制御部 12 は、複数の端末 T から取得された複数の設定情報に基づいて、表示装置 5 に表示させるコンテンツの表示態様を設定することができる。具体的には、取得部 11 が表示装置 5 の周辺に存在する複数の端末 T から設定情報を取得した場合に、表示制御部 12 は、複数の設定情報のそれぞれに示される複数の表示態様のうち最も多い表示態様でコンテンツを表示装置 5 に表示させる。

[0065] さらに具体的には、例えば、表示制御部 12 は、図 5 に示される説明表示部 MX に表示される文章の言語を、取得された複数の設定情報のそれぞれに示される言語に関する表示態様のうち、最も多い言語に設定することができ

る。これにより、表示装置 5 を視聴可能な複数の端末 T のユーザのうちの、より多くのユーザに合った言語で説明表示部 M X の内容を表示させることが可能となる。

[0066] また、表示制御部 1 2 は、複数の端末 T から取得された複数の設定情報に基づいて、一定の時間に複数のコンテンツを表示装置 5 に表示させることとしてもよい。この場合には、表示制御部 1 2 は、複数のコンテンツの表示態様を、取得された複数の設定情報に含まれる各表示態様の割合に基づいて設定することとしてもよい。

[0067] 具体的には、表示制御部 1 2 は、ある一定の時間に、端末 T からの商品画像 M のいずれかを指示する指示情報の取得によらず、複数の商品レビューを表示装置 5 に表示させることとしてもよい。例えば、表示制御部 1 2 は、あるタイミングから一定の時間（例えば 5 分間）に、商品レビューを商品画像に関連付けて、次々にポップアップさせて表示させてもよい。かかる場合に、取得部 1 1 は、例えば、ポップアップ表示の開始時以前のあるタイミングにおいて、当該表示制御システムにアクセス（接続）している複数の端末 T から複数の設定情報を取得する。そして、表示制御部 1 2 は、複数の設定情報に表示態様の設定として含まれるそれぞれの言語の割合を算出し、算出された各言語の割合を、5 分間にポップアップ表示させる複数の商品レビューの言語の設定に反映させる。さらに具体的には、例えば、取得された複数の設定情報に含まれる言語の設定の割合が、日本語：60%、英語：40%であった場合には、表示制御部 1 2 は、5 分間に表示させる複数の商品レビューのうちの 60% の商品レビューを日本語で表示させ、40% の商品レビューを英語で表示させる。どの商品レビューを、どの言語により表示させるかは、例えば、ランダムに決定されることとしてもよい。

[0068] また、表示制御部 1 2 は、複数の商品毎のレビューや商品情報を一定時間表示させた後に、あるタイミングで表示させていた複数のレビュー等を一齐に他のレビュー等に切り替えて表示させてもよい。かかる場合に、取得部 1 1 は、例えば、表示の切り替え時以前のあるタイミングにおいて、当該表示

制御システムにアクセス（接続）している複数の端末Ｔから複数の設定情報を取得する。そして、表示制御部１２は、複数の設定情報に表示態様の設定として含まれるそれぞれの言語の割合を算出し、算出された各言語の割合を、表示切り替え後に表示させる複数の商品レビューの言語の設定に反映させる。例えば、取得された複数の設定情報に含まれる言語の設定の割合が、日本語：６０％、英語：４０％であった場合には、表示制御部１２は、表示切り替え後に表示させる複数の商品レビューのうちの６０％の商品レビューを日本語で表示させ、４０％の商品レビューを英語で表示させる。どの商品レビューを、どの言語により表示させるかは、例えば、ランダムに決定されることとしてもよい。

[0069] 上記実施形態では、例えば、本実施形態の表示装置５を構成するデジタルサイネージが日本に設けられる場合において、通常は日本人が多くデジタルサイネージの前を通るので、商品レビュー等のコンテンツが日本語で表示される。そして、デジタルサイネージの前に英語圏からの観光客が集まってきた場合には、そのタイミングにおいて、デジタルサイネージの前にいる人に占める英語圏の観光客の割合に応じて、商品レビュー等が英語で表示される。

[0070] 指示取得部１３は、表示制御部１２により表示装置５に表示された複数のコンテンツのうちの一のコンテンツを指定する指示情報を端末Ｔから取得する。具体的には、ユーザは、端末Ｔを操作することにより、図５に例示するように表示装置５に表示された複数の商品画像Ｍのうち、一の商品画像Ｍをカーソルにより指示することができる。カーソルによる一の商品画像Ｍの指示を示す指示情報は、ウェブサーバ３を介して表示制御装置１に送信される。指示取得部１３は、一の商品画像Ｍに対するカーソルによる指示を表す指示情報を取得する。

[0071] 図８は、表示装置５に表示された画面の例であって、カーソルにより商品画像が指示された状態を示す図である。図８に示されるカーソルＣ１～Ｃ３はそれぞれ、端末Ｔ１～Ｔ３に対応するカーソルである。カーソルＣ１によ

り商品画像M 1 が指示されているので、指示取得部 1 3 は、商品画像M 1 を指定する指示情報を端末T 1 から取得する。同様に、カーソルC 2, C 3 により商品画像M 2, M 3 が指示されているので、指示取得部 1 3 は、商品画像M 2, M 3 を指定する指示情報を端末T 2, T 3 から取得する。

[0072] そして、前述のとおり、表示制御部 1 2 は、指示された商品画像M に示される商品の商品レビューを、当該商品画像M に関連付けて、取得部 1 1 により取得された設定情報に示される表示態様（言語）で表示させる。図 9 は、表示装置 5 に表示された画面の例であって、商品レビューが商品画像に関連付けられて表示されている状態を示す図である。

[0073] 例えば、取得部 1 1 が、端末T 1 から言語に関する表示態様を設定する設定情報「L 2（英語）」を取得した場合には、表示制御部 1 2 は、商品情報記憶部 2 1 においてカーソルC 1 により指示された商品画像M 1 に対応付けられている日本語の商品レビューR 1 を取得する。そして、表示制御部 1 2 は、翻訳機能を有する所定の翻訳サーバに商品レビューR 1 を英語に翻訳させ、翻訳された商品レビューR 1 2 を取得し、商品画像M 1 に関連付けて商品レビューR 1 2 を表示画面D S に表示させる。

[0074] また、取得部 1 1 が、端末T 2 からユーザID「B B B」を取得すると、ユーザ情報記憶部 2 2 を参照して（図 7 参照）、言語に関する表示態様を設定する設定情報「L 1（日本語）」を取得する。この場合には、表示制御部 1 2 は、商品情報記憶部 2 1 においてカーソルC 2 により指示された商品画像M 2 に対応付けられている日本語の商品レビューR 2 を取得する。そして、表示制御部 1 2 は、商品画像M 2 に関連付けて商品レビューR 2 を表示画面D S に表示させる。

[0075] また、取得部 1 1 が、例えば、端末T 3 から言語に関する表示態様を設定する設定情報「L 2（英語）」を取得した場合には、表示制御部 1 2 は、商品情報記憶部 2 1 においてカーソルC 3 により指示された商品画像M 3 に対応付けられている日本語の商品レビューR 3 を取得する。そして、表示制御部 1 2 は、翻訳機能を有する所定の翻訳サーバに商品レビューR 3 を英語に

翻訳させ、翻訳された商品レビューR 3 2を取得し、商品画像M 3に関連付けて商品レビューR 3 2を表示画面D Sに表示させる。

[0076] なお、表示制御部1 2は、翻訳された商品レビューを商品情報記憶部2 1にキャッシュとして記憶させることとしてもよい。図6に示すように、表示制御部1 2は、英訳された商品レビューR 1 2を、商品M 1に対応付けてキャッシュとして記憶させる。また、表示制御部1 2は、英訳された商品レビューR 3 2を商品M 3に対応付けて記憶させる。表示制御部1 2は、キャッシュとして記憶された商品レビューを、カーソルによる指示及び取得された設定情報に応じて、商品画像Mに関連付けて表示させることとしてもよい。

[0077] 送信部1 4は、表示制御部1 2により表示態様を設定された第1のコンテンツ、第2のコンテンツ及び第3のコンテンツのうちの少なくとも一つのコンテンツを端末Tに送信する。具体的には、送信部1 4は、端末Tからのリクエストに応じて、前述のとおり表示制御部1 2により表示態様を設定された商品画像M、商品レビュー及び商品の詳細情報のうちの少なくとも一つを端末Tに送信する。なお、送信部1 4は、表示制御部1 2により表示態様を設定されたレコメンド情報を端末Tに送信することとしてもよい。

[0078] なお、本実施形態において、設定情報に示されるコンテンツの表示態様は言語の設定に関するものであるが、これには限定されない。設定情報に示される表示態様は、例えば、フォント、色に関するものであってもよい。また、端末Tから取得される設定情報は、端末Tにおけるアイコンの表示態様に関する情報であってもよい。

[0079] 再び図4を参照して、端末Tの各機能部を説明する。指示入力受付部3 1は、表示装置5に表示された複数の商品画像Mのいずれかに対する指示入力を受け付ける。具体的には、端末Tのユーザが端末Tを操作すると、その操作情報がウェブサーバ3を介して表示制御装置1に送信されることにより、表示装置5に表示されたカーソルCの位置を移動させることができる。そして、指示入力受付部3 1は、カーソルによる一の商品画像Mに対する指示を示す指示入力を受け付ける。

- [0080] 指示情報送信部 3 2 は、指示入力受付部 3 1 により受け付けられたいずれかの商品画像 M に対する指示入力を表す指示情報を表示制御装置 1 に送信する。本実施形態では、指示情報は、ウェブサーバ 3 を介して表示制御装置 1 に送信される。
- [0081] 設定情報送信部 3 3 は、所定の契機で、端末情報記憶部 3 6 に記憶された設定情報を表示制御装置 1 に送信する。所定の契機は、前述のとおり、例えば、本実施形態の表示制御システムが提供するサービスを特定する所定の URL に端末 T がアクセスしたとき、所定の近距離無線通信により当該表示制御システムとの通信が確立されたとき、GPS 等により測位された端末 T の位置情報が表示装置 5 から所定の距離以内の場所に含まれることとなったとき等である。なお、本実施形態では、設定情報は、ウェブサーバ 3 を介して表示制御装置 1 に送信される。
- [0082] コンテンツ受信部 3 4 は、表示制御装置 1 の送信部 1 4 から送信されるコンテンツを受信する。受信されるコンテンツは、例えば商品画像 M、商品レビュー、商品の詳細説明及びレコメンド情報等である。
- [0083] 表示制御部 3 5 は、コンテンツ受信部により受信されたコンテンツを端末 T のディスプレイに表示させる。また、表示制御部 3 5 は、表示装置 5 に表示された商品画像 M を指示するカーソル C を操作するためのユーザインターフェース画面をディスプレイに表示させる。前述のとおり、カーソル C の移動及びカーソルによる商品画像 M に対する指示入力を示す指示情報は、指示情報送信部 3 2 により表示制御装置 1 に送信される。
- [0084] 表示制御部 3 5 は、例えば、ブラウザとして実現される。表示制御部 3 5 がブラウザとして実現される場合には、表示制御部 3 5 は、端末 T におけるコンテンツの表示態様が設定された設定情報を有している。この場合には、表示制御部 3 5 は、表示するためのコンテンツを取得するに際して、コンテンツの送信元に対して、設定情報を送信することとしてもよい。表示制御装置 1 の取得部 1 1 は、このように送信された設定情報を取得することができる。ブラウザは、コンテンツの取得に先立って設定情報を送信する機能を有

しているので、この場合には、既存機能により表示制御装置 1 における設定情報の取得が実現されるので、本実施形態に係る表示制御システムを容易に構成できる。

[0085] 一般的に、端末は、ウェブブラウザに表示させるウェブページの要求をウェブサーバに送信する際、既存のプロトコルに従って、ウェブブラウザに設定されている言語を特定する情報をウェブサーバに送信する。ウェブサーバにおいて 1 つのウェブページに対して複数の言語で記載されたページがそれぞれ用意されている場合、ウェブサーバは、ウェブページの要求と共に送信された情報によって特定された言語で記載されたウェブページを端末に提供する。

[0086] 本実施形態では、既存のプロトコルにおける、端末からウェブサーバに対して言語を特定する情報が送信される機能を利用してもよい。すなわち、端末 T が、表示制御装置 1 及びウェブサーバ 3 を含む表示制御システムに、ウェブブラウザにより構成される表示制御部 35 を介してアクセスするとき、つまり、最初にウェブページの要求が送信されるときに、言語を特定する情報が本実施形態における設定情報として表示制御システムに送信される。

[0087] 端末 T に提供されるウェブページは、既存プロトコルに従って送信された設定情報により特定された言語で表示される。また、ユーザの指示入力に応じて表示装置 5（デジタルサイネージ）に表示されるコンテンツも、既存プロトコルに従って送信された設定情報により特定された言語で表示される。これにより、本実施形態では、既存プロトコルに従って端末に提供されるウェブページの言語を特定するための情報を、デジタルサイネージに表示する言語を特定するための情報に流用できる。

[0088] 端末情報記憶部 36 は、当該端末 T の設定情報を記憶している記憶手段である。図 10 は、端末 T 1 の端末情報記憶部 36 の構成及び記憶されているデータの例を示す図である。図 10 に示すように、端末情報記憶部 36 は、種々の表示態様の設定項目に対応付けて設定情報を記憶している。例えば、端末情報記憶部 36 は、言語に関する表示態様として設定情報「L2」を記

憶している。また、端末情報記憶部 36 は、フォントサイズの設定情報「14」を記憶している。

[0089] なお、本実施形態では、端末 T は、ブラウザを介して表示制御装置 1 にアクセスすることとしているので、設定情報は、ブラウザの表示態様に関する設定情報として端末情報記憶部 36 に記憶されているが、本実施形態の表示制御システムに専用のアプリケーションによりアクセスする場合には、端末 T のオペレーティングシステム又は当該アプリケーションにおいて設定された表示態様に関する設定情報であってもよい。

[0090] 次に、図 11 を参照して、本実施形態の表示制御方法について説明する。図 11 は、図 2 に示した表示制御装置 1 における表示制御方法の処理内容の例を示すフローチャートである。

[0091] まず、表示制御部 12 は、図 5 に示すように、表示装置 5 に商品情報記憶部 21 から取得した複数の商品画像 M を表示させる（S1）。次に、表示制御装置 1 は、端末 T からのアクセスを受け付ける（S2）。例えば、端末 T は、本実施形態の表示制御システムによるサービスを特定する URL に対するアクセスする。続いて、取得部 11 は、端末 T による URL アクセスを契機として端末 T から送信される、表示態様に関する設定情報を取得する（S3）。この設定情報は、端末 T における言語に関する表示態様を特定する。

[0092] 指示取得部 13 は、端末 T からの指示情報を取得したか否かを判定する（S4）。指示情報は、表示装置 5 に表示された複数の商品画像 M のうちの一つの画像の指示を示す情報である。指示情報を取得した場合には処理はステップ S5 に進められる。

[0093] ステップ S5 において、表示制御部 12 は、商品情報記憶部 21 を参照して、指示情報により指示されている商品画像に対応付けられている商品レビューを取得する（S5）。続いて、表示制御部 12 は、ステップ S5 において取得した商品レビューの言語がステップ S3 において取得した設定情報に示される言語であるか否かを判定する（S6）。例えば、商品レビューの言語が日本語であって、表示態様に関する設定情報に示される言語が英語であ

る場合には、処理はステップＳ７に進められる。一方、商品レビューの言語が日本語であって、表示態様に関する設定情報に示される言語が日本語である場合には、処理はステップＳ８に進められる。

[0094] ステップＳ７において、表示制御部１２は、商品レビューを所定の翻訳サーバに英訳させ、英訳された商品レビューを取得する（Ｓ７）。または、表示制御部１２は、英訳された商品レビューが商品情報記憶部２１にキャッシュとして記憶されている場合には、商品情報記憶部２１から英訳された商品レビューを取得する。

[0095] ステップＳ８において、表示制御部１２は、ステップＳ６において取得された商品レビューまたはステップＳ７において取得された翻訳された商品レビューを、商品画像に関連付けて、表示装置５に表示させる（Ｓ８）。

[0096] 次に、図１２を参照して、本実施形態の表示制御方法の他の例について説明する。図１２は、表示制御装置１における表示制御方法の処理内容の他の例を示すフローチャートである。

[0097] ステップＳ１１～Ｓ１２の処理は、図１１のフローチャートにおけるステップＳ１～Ｓ２の処理と同様である。ステップＳ１３において、取得部１１は、端末ＴによるＵＲＬアクセスを契機として端末Ｔから送信される、端末ＴのユーザのユーザＩＤを取得する（Ｓ１３）。

[0098] ステップＳ１４～Ｓ１５の処理は、図１１のフローチャートにおけるステップＳ４～Ｓ５の処理と同様である。ステップＳ１６において、取得部１１は、ユーザ情報記憶部２２を参照して、ステップＳ１３において取得したユーザＩＤに対応付けられた、表示態様に関する設定情報を取得する。

[0099] 続いて、表示制御部１２は、ステップＳ１５において取得した商品レビューの言語がステップＳ１６において取得した設定情報に示される言語であるか否かを判定する（Ｓ１７）。例えば、商品レビューの言語が日本語であって、表示態様に関する設定情報に示される言語が英語である場合には、処理はステップＳ１８に進められる。一方、商品レビューの言語が日本語であって、表示態様に関する設定情報に示される言語が日本語である場合には、処

理はステップS 1 9に進められる。ステップS 1 8, S 1 9の処理は、図 1 1のフローチャートにおけるステップS 7, S 8の処理と同様である。

[0100] 次に、図 1 3を参照して、コンピュータを表示制御装置 1として機能させるための表示制御プログラムを説明する。表示制御プログラム P 1は、メインモジュール m 1 0、取得モジュール m 1 1、表示制御モジュール m 1 2、指示取得モジュール m 1 3及び送信モジュール m 1 4を備える。

[0101] メインモジュール m 1 0は、表示制御処理を統括的に制御する部分である。取得モジュール m 1 1、表示制御モジュール m 1 2、指示取得モジュール m 1 3及び送信モジュール m 1 4を実行することにより実現される機能はそれぞれ、図 2に示される表示制御装置 1の取得部 1 1、表示制御部 1 2、指示取得部 1 3及び送信部 1 4の機能と同様である。

[0102] 表示制御プログラム P 1は、例えば、C D-R O MやD V D-R O Mまたは半導体メモリ等の記憶媒体 D 1によって提供される。また、表示制御プログラム P 1は、搬送波に重畳されたコンピュータデータ信号として通信ネットワークを介して提供されてもよい。

[0103] 以上説明した本実施形態の表示制御装置 1、表示制御方法及び表示制御プログラム P 1によれば、端末 Tに表示されるコンテンツの表示態様に関する設定情報が取得され、取得された設定情報に基づいて設定された表示態様のコンテンツが表示装置 5に表示される。これにより、端末 Tのユーザの手間を要せずに、そのユーザに合う表示態様のコンテンツを表示装置 5に表示させることが可能となる。

[0104] 以上、本発明をその実施形態に基づいて詳細に説明した。しかし、本発明は上記実施形態に限定されるものではない。本発明は、その要旨を逸脱しない範囲で様々な変形が可能である。

符号の説明

[0105] 1…表示制御装置、3…ウェブサーバ、5…表示装置、1 1…取得部、1 2…表示制御部、1 3…指示取得部、1 4…送信部、2 1…商品情報記憶部、2 2…ユーザ情報記憶部、2 3…履歴情報記憶部、3 1…指示入力受付部

、 3 2 …指示情報送信部、 3 3 …設定情報送信部、 3 4 …コンテンツ受信部
、 3 5 …表示制御部、 3 6 …端末情報記憶部、 D 1 …記憶媒体、 m 1 0 …メ
インモジュール、 m 1 1 …取得モジュール、 m 1 2 …表示制御モジュール、
m 1 3 …指示取得モジュール、 m 1 4 …送信モジュール、 N…ネットワーク
、 P 1 …表示制御プログラム、 T…端末。

請求の範囲

- [請求項1] 端末におけるコンテンツの表示態様に関して当該端末に設定されている設定情報を取得する取得手段と、
- 前記端末と物理的に異なる表示装置に表示させる少なくとも一部のコンテンツの表示態様を前記設定情報に基づいて設定し、前記表示装置に該コンテンツを表示させる表示制御手段と、
- を備える表示制御システム。
- [請求項2] 前記表示制御手段は、ユーザによる前記端末の操作によって、前記表示装置に表示されている第1のコンテンツに関連付けて表示される第2のコンテンツを表示する場合に、当該第2のコンテンツを前記設定情報に基づいて変更した表示態様で表示させる、
- 請求項1に記載の表示制御システム。
- [請求項3] 前記表示制御手段は、前記第1のコンテンツ、前記第2のコンテンツ及び前記第1のコンテンツに関連付けられたコンテンツであって前記表示装置に表示させる対象ではない第3のコンテンツのうちの少なくとも一つのコンテンツの表示態様を、前記設定情報に基づく表示態様に設定し、
- 前記表示制御手段により表示態様を設定された第1のコンテンツ、第2のコンテンツ及び第3のコンテンツのうちの少なくとも一つのコンテンツを前記端末に送信する送信手段を更に備える、
- 請求項2に記載の表示制御システム。
- [請求項4] 前記取得手段は、前記端末から送信されるウェブページの取得の要求と共に前記端末から送信される設定情報を取得し、
- 前記設定情報に応じて表示態様が設定されたウェブページが前記要求に応じて前記端末に提供される、
- 請求項1～3のいずれか一項に記載の表示制御システム。
- [請求項5] 前記取得手段により、前記端末から第1の設定情報が取得され、前記端末から取得されたユーザの識別情報に基づき該識別情報に対応付

けられた第2の設定情報が取得された場合に、

前記表示制御手段は、予め設定された表示態様の選択に関する条件に基づいて、前記第1の設定情報に基づく表示態様及び前記第2の設定情報に基づく表示態様のいずれかの表示態様でコンテンツを表示させる、

請求項1～4のいずれか一項に記載の表示制御システム。

[請求項6]

前記取得手段は、複数の端末の各々から前記設定情報を取得し、

前記表示制御手段は、前記複数の設定情報に示される複数の表示態様のうち最も多い表示態様でコンテンツを前記表示装置に表示させる、

請求項1～5のいずれか一項に記載の表示制御システム。

[請求項7]

前記取得手段は、複数の端末の各々から前記設定情報を取得し、

前記表示制御手段は、複数のコンテンツを前記表示装置に表示させ、前記複数のコンテンツの表示態様は、取得された複数の設定情報に含まれる各表示態様の割合に基づいて設定される、

請求項1～5のいずれか一項に記載の表示制御システム。

[請求項8]

前記設定情報により特定される表示態様は、コンテンツを表す言語に関する、

請求項1～7のいずれか一項に記載の表示制御システム。

[請求項9]

表示制御システムにおける表示制御方法であって、

端末におけるコンテンツの表示態様に関して当該端末に設定されている設定情報を取得する取得ステップと、

前記端末と物理的に異なる表示装置に表示させる少なくとも一部のコンテンツの表示態様を前記設定情報に基づいて設定し、前記表示装置に該コンテンツを表示させる表示制御ステップと、

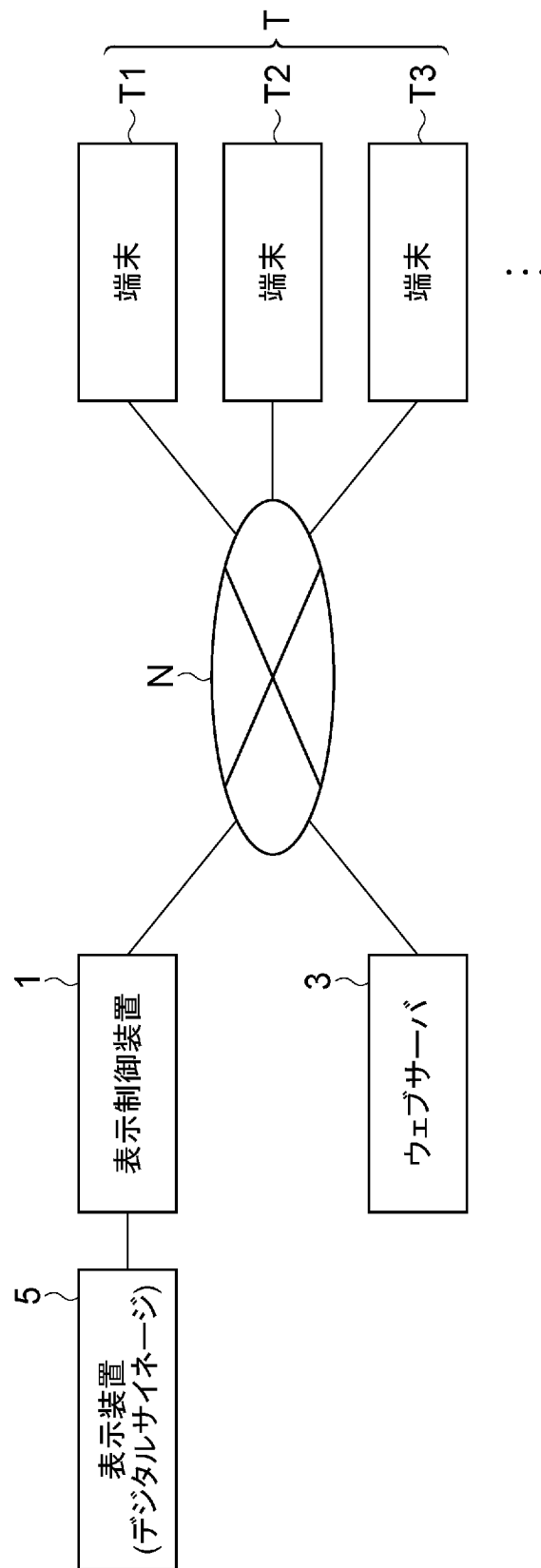
を有する表示制御方法。

[請求項10]

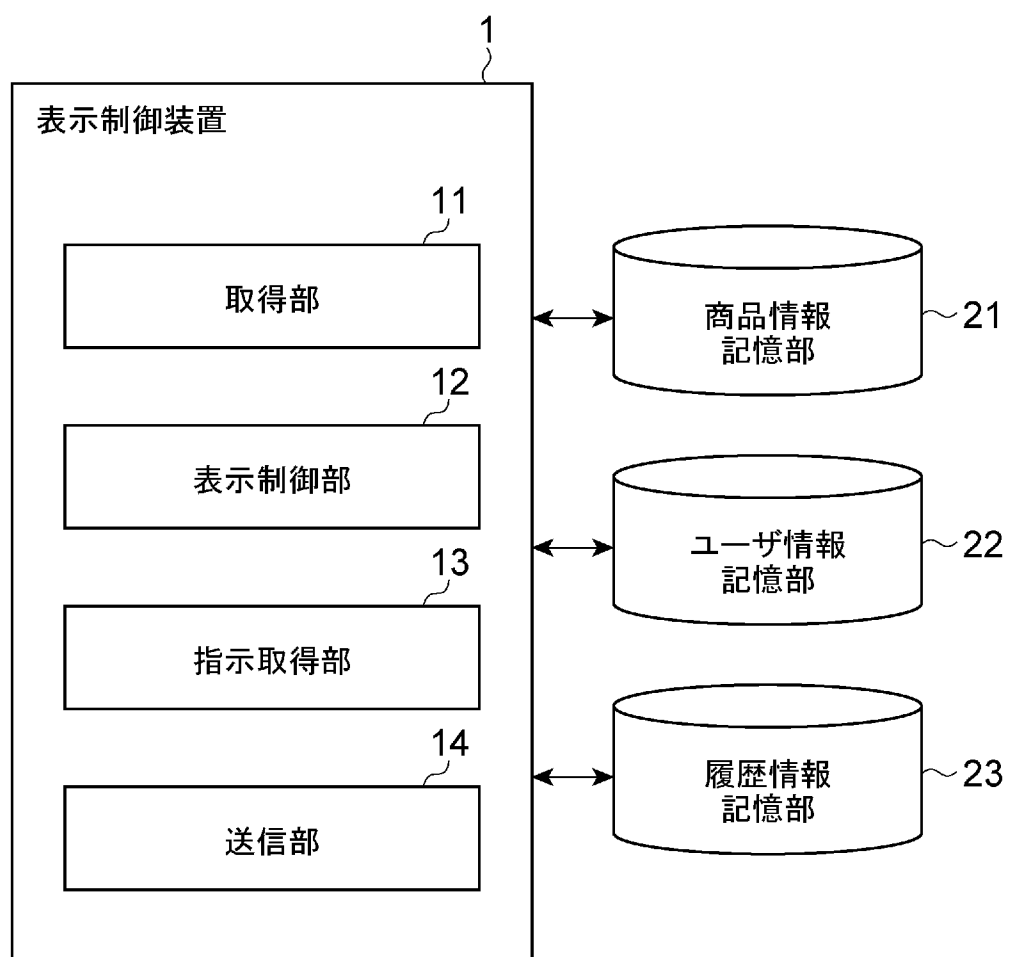
コンピュータを表示制御システムとして機能させるための表示制御プログラムであって、

前記コンピュータに、
端末におけるコンテンツの表示態様に関して当該端末に設定されている設定情報を取得する取得機能と、
前記端末と物理的に異なる表示装置に表示させる少なくとも一部のコンテンツの表示態様を前記設定情報に基づいて設定し、前記表示装置に該コンテンツを表示させる表示制御機能と、
を実現させる表示制御プログラム。

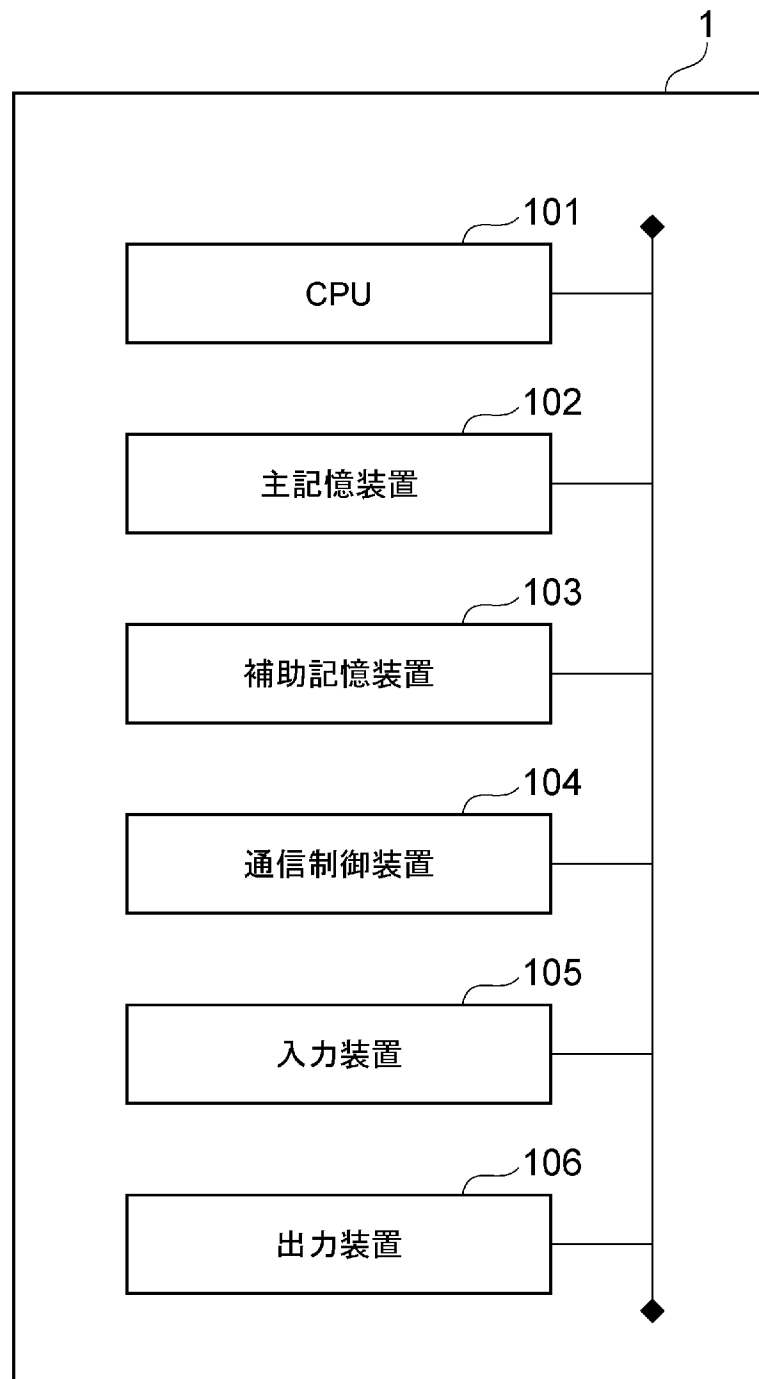
[図1]



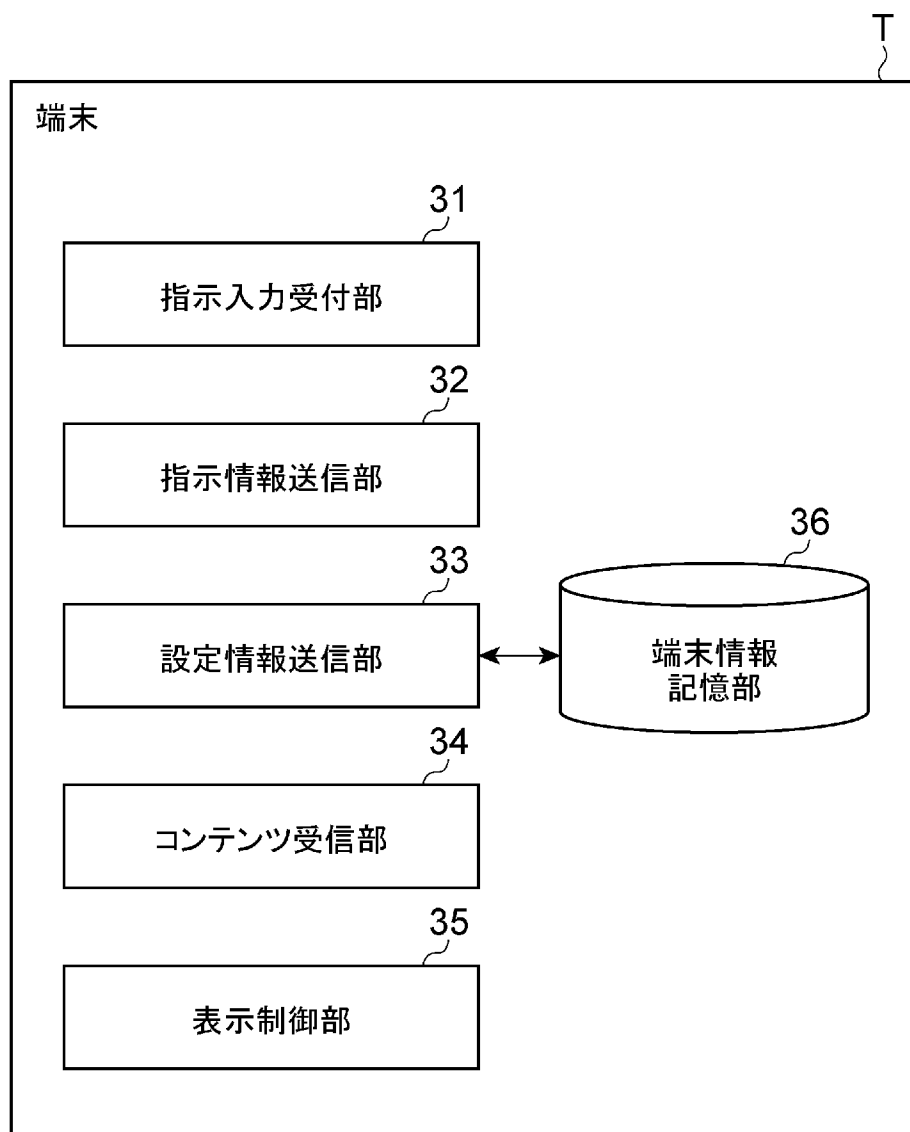
[図2]



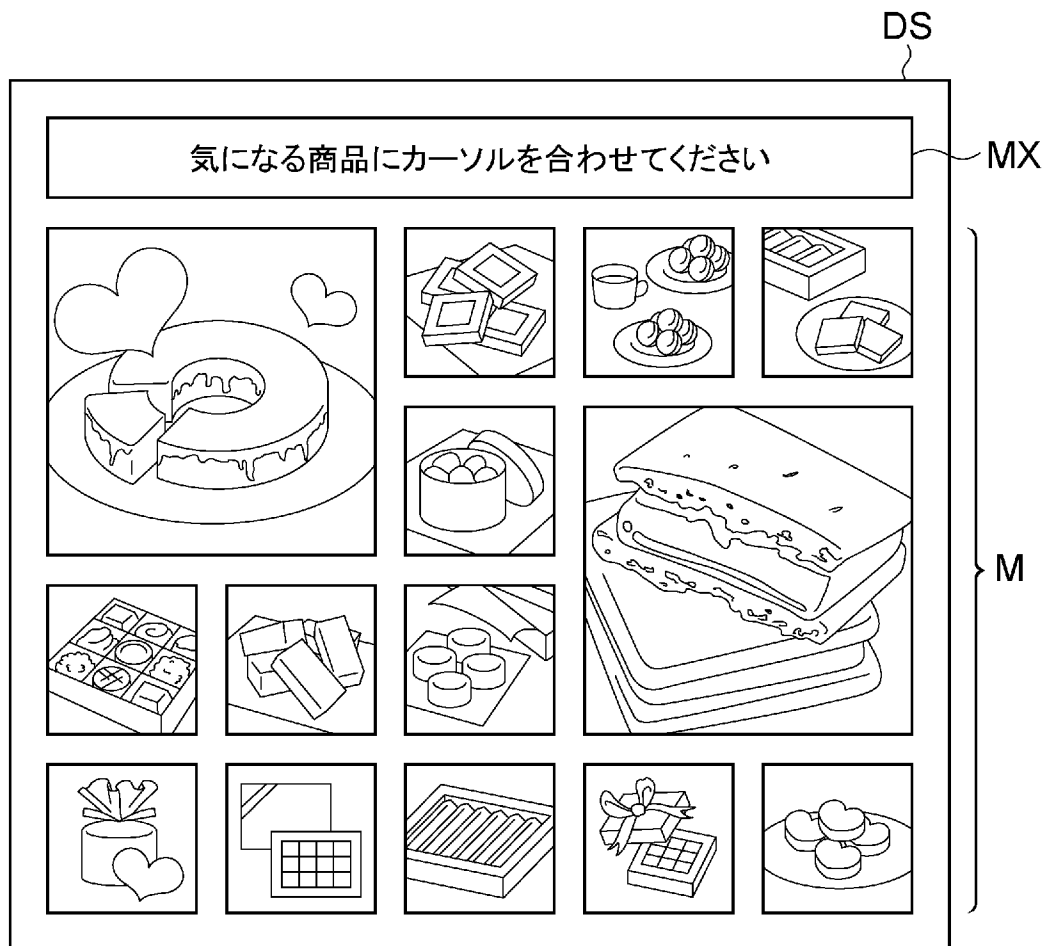
[図3]



[図4]



[図5]

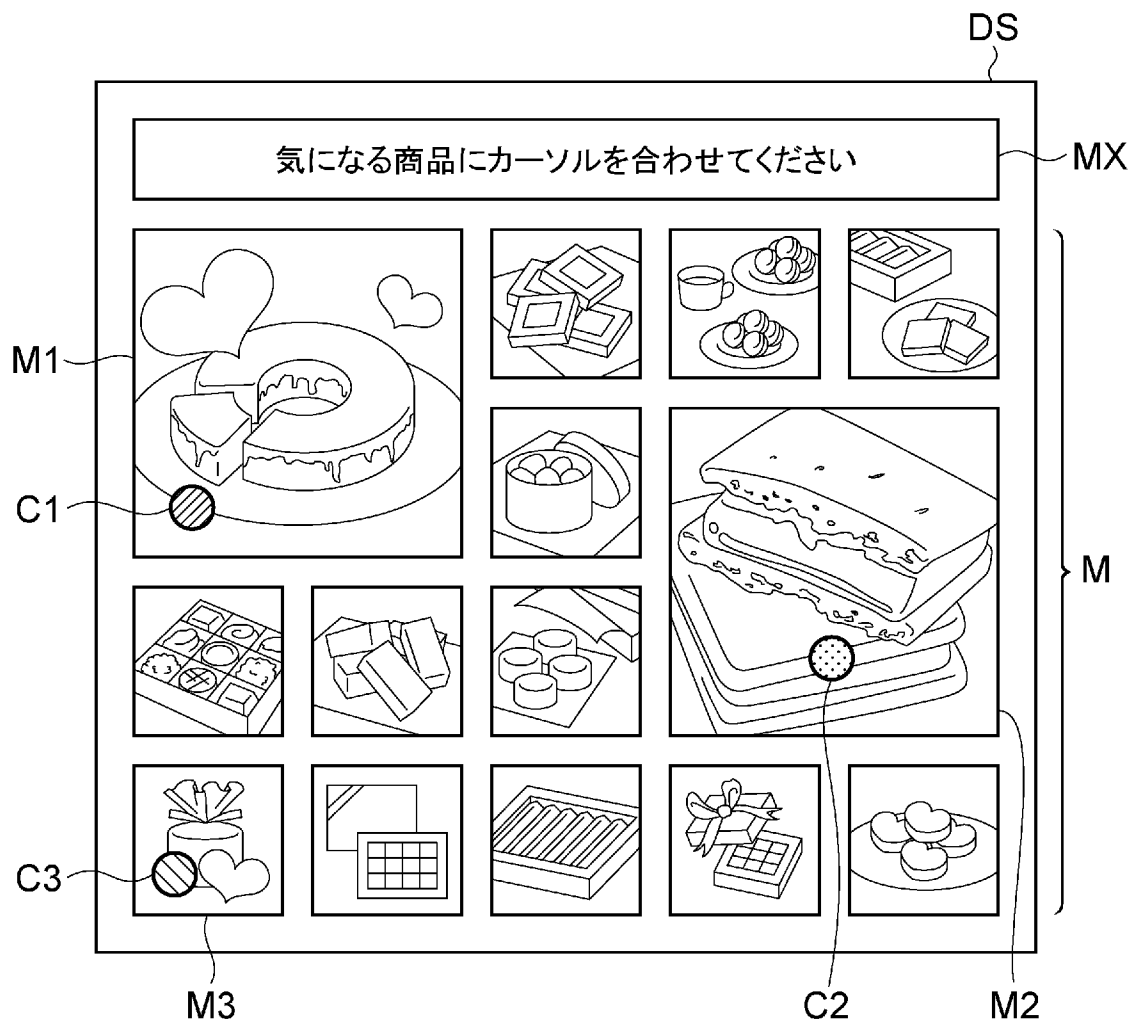


商品ID	商品名	商品画像	商品 レビュー	詳細情報	商品レビュー(キャッシュ)		
					①	②	③
M1	商品M1	...	R1	...	R12	R13	...
M2	商品M2		R2	...	...	...	...
M3	商品M3	...	R3	...	R32	...	...
M4	商品M4	...	R4	...	R43	...	...
M5	商品M5	...	R5	...	...	...	...
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

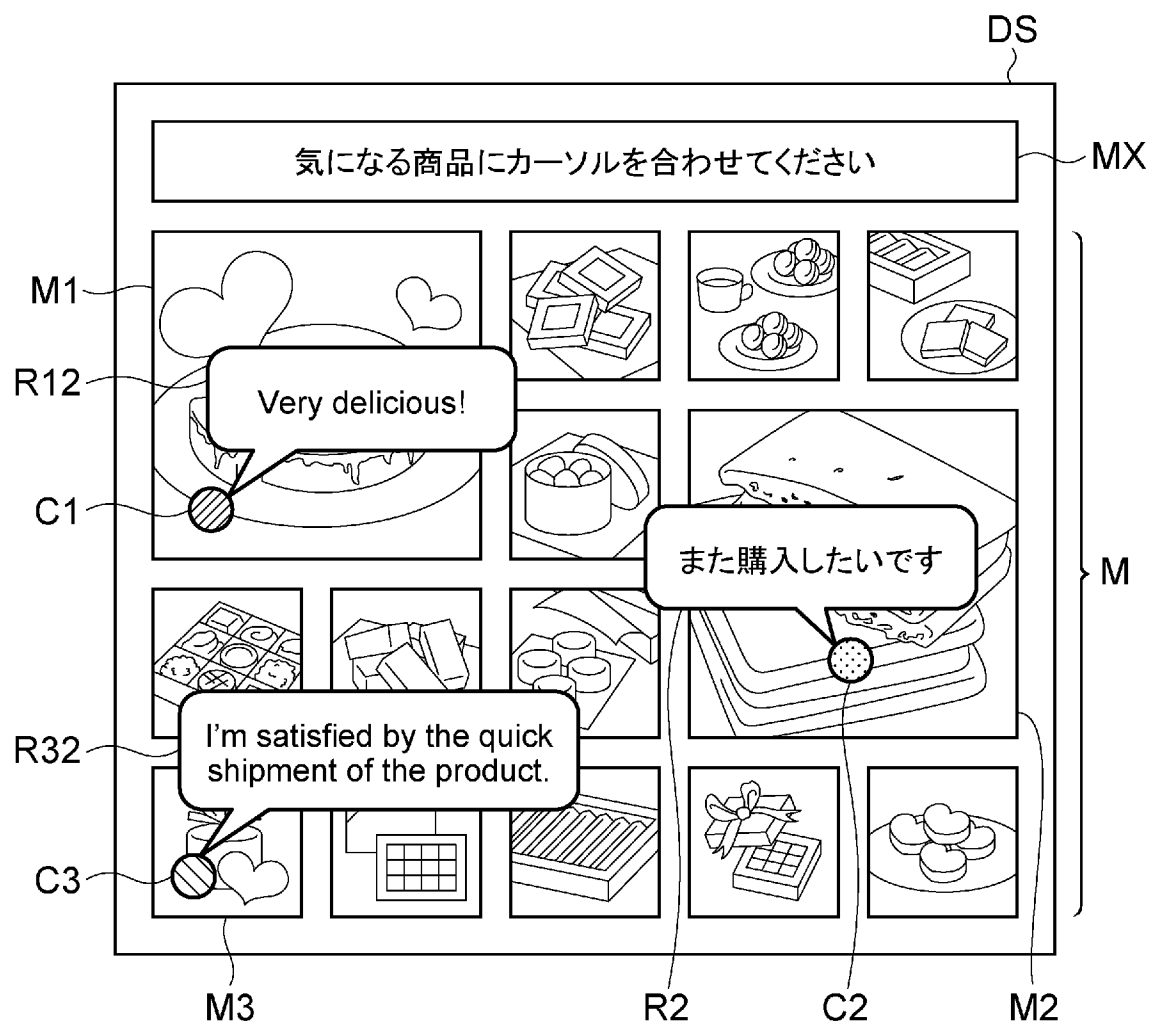
[図7]

ユーザID	設定情報	
	言語	...
AAA	...	...
BBB	L1	...
CCC	L1	...
DDD	L3	...
EEE	L2	...
⋮	⋮	⋮

[図8]



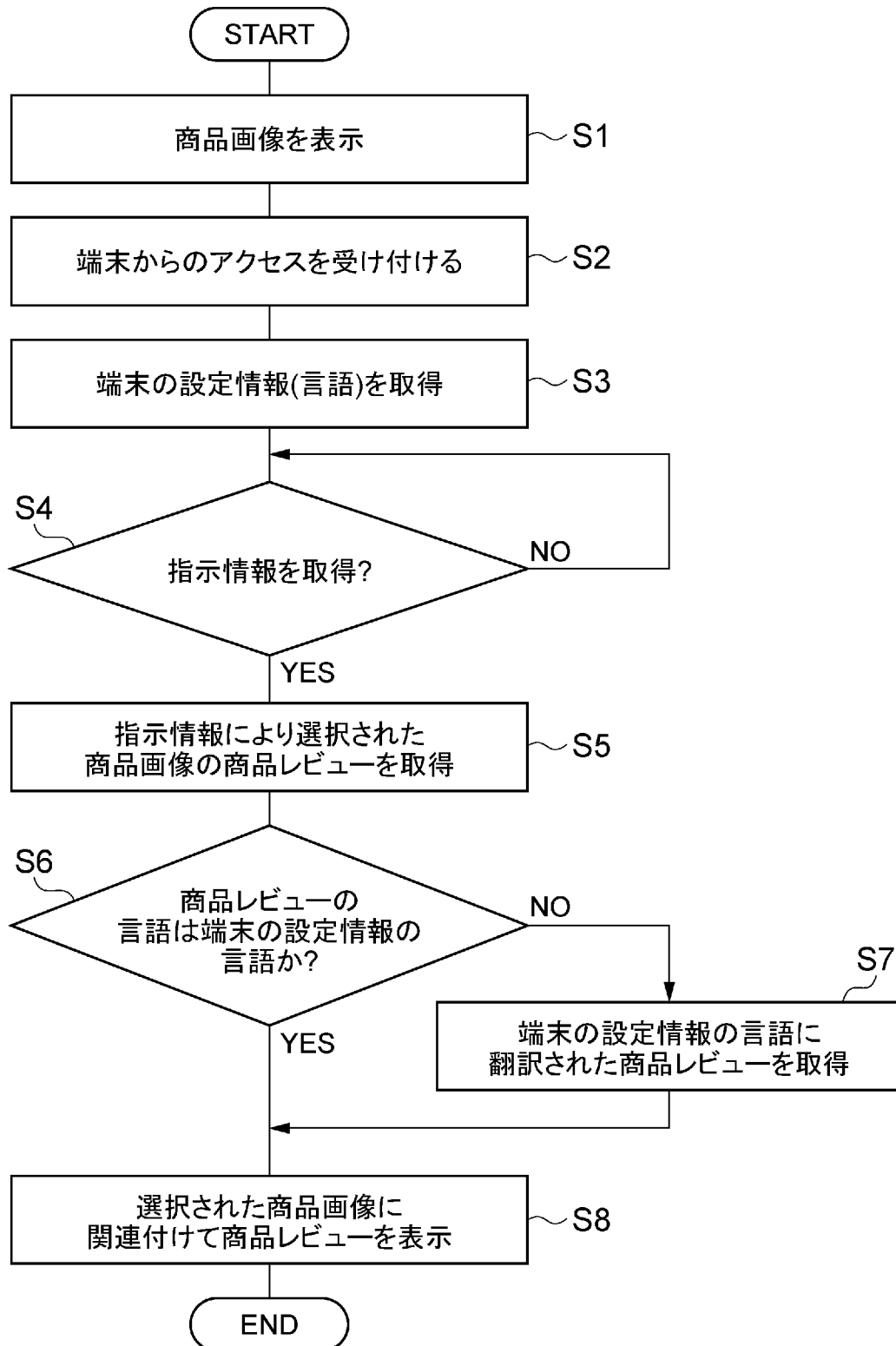
[図9]



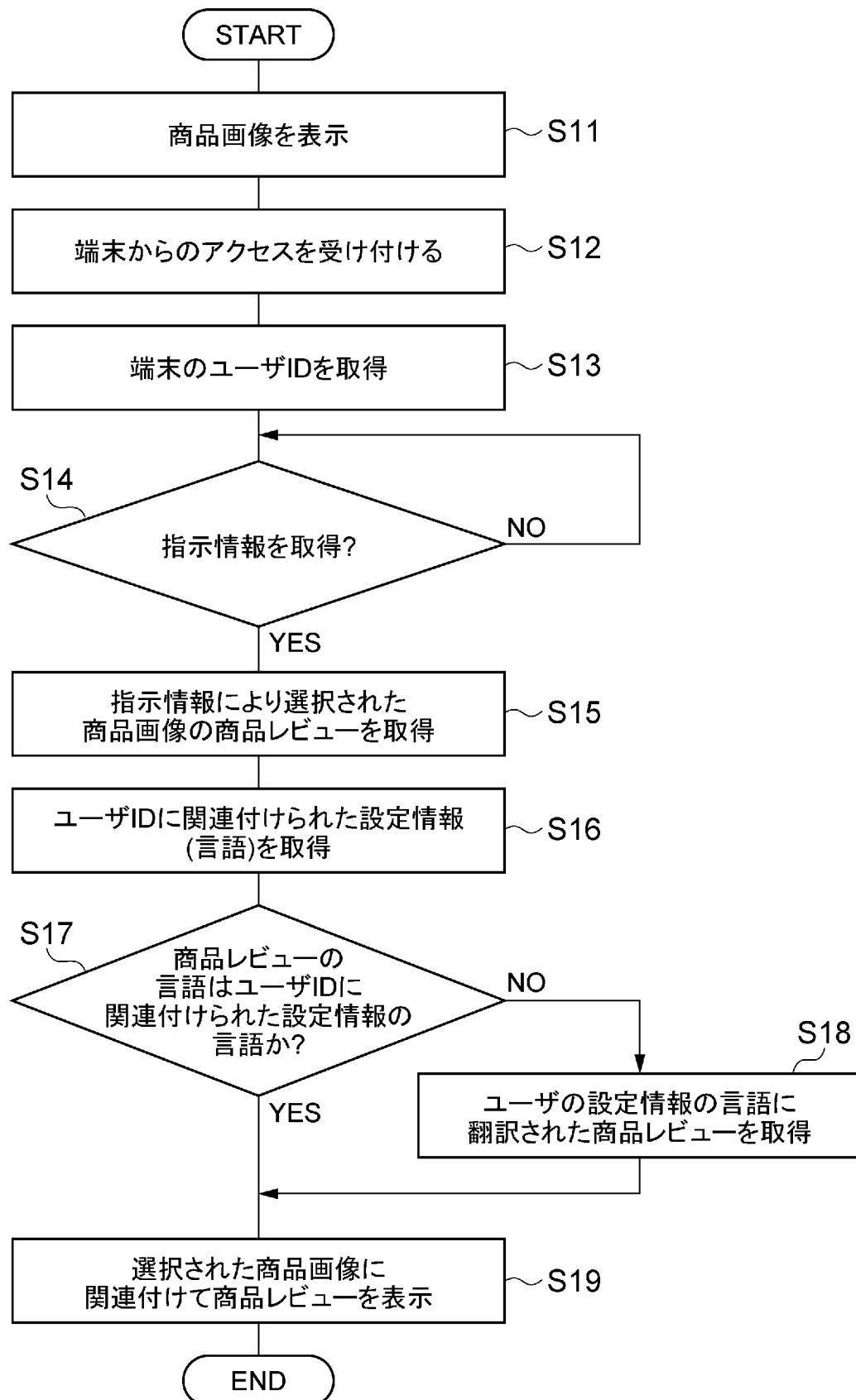
[図10]

設定項目	設定情報
言語	L2
フォントサイズ	14
:	:

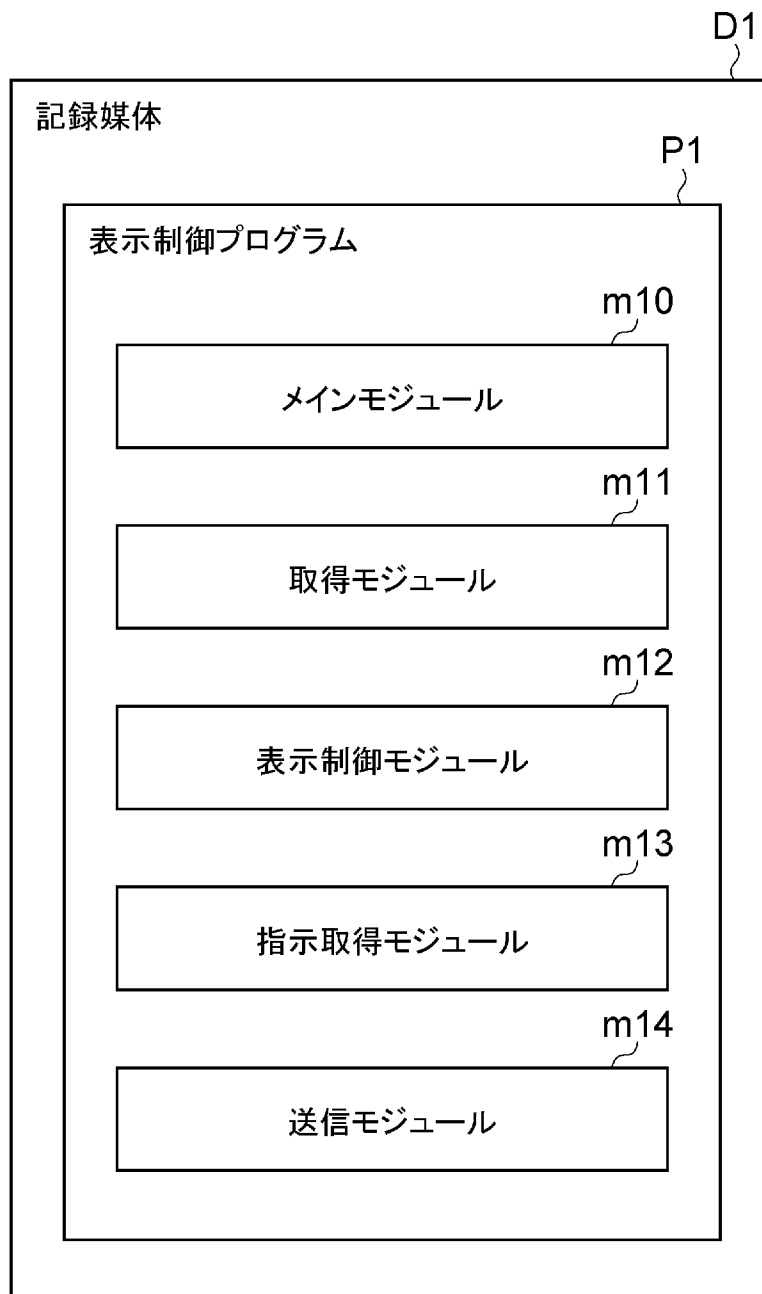
[図11]



[図12]



[図13]



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2015/058270

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

G06F3/048(2013.01)i, G09G5/00(2006.01)i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

G06F3/048, G09G5/00

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2015
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2015	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2015

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X Y	JP 2013-125047 A (Zenrin DataCom Co., Ltd.), 24 June 2013 (24.06.2013), paragraphs [0014] to [0068], [0089] to [0090]; fig. 1, 2, 7, 8 (Family: none)	1, 4, 6, 8-10 2, 3, 5, 7
Y	JP 2009-64316 A (Casio Computer Co., Ltd.), 26 March 2009 (26.03.2009), paragraphs [0039] to [0045]; fig. 3, 12 to 14 (Family: none)	2, 3, 5
Y	JP 2011-43898 A (Toshiba Corp.), 03 March 2011 (03.03.2011), paragraphs [0034] to [0041]; fig. 9 to 12 (Family: none)	7

☒ Further documents are listed in the continuation of Box C.

☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
14 May 2015 (14.05.15)

Date of mailing of the international search report
26 May 2015 (26.05.15)

Name and mailing address of the ISA/
Japan Patent Office
3-4-3, Kasumigaseki, Chiyoda-ku,
Tokyo 100-8915, Japan

Authorized officer

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2015/058270

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	JP 2014-52770 A (Toshiba Tec Corp.), 20 March 2014 (20.03.2014), entire text; all drawings (Family: none)	1-10
A	JP 2013-238646 A (Toshiba Tec Corp.), 28 November 2013 (28.11.2013), entire text; all drawings (Family: none)	1-10
A	JP 2013-105404 A (Zenrin DataCom Co., Ltd.), 30 May 2013 (30.05.2013), entire text; all drawings (Family: none)	1-10

A. 発明の属する分野の分類（国際特許分類（I P C））

Int.Cl. G06F3/048(2013.01)i, G09G5/00(2006.01)i

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料（国際特許分類（I P C））

Int.Cl. G06F3/048, G09G5/00

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1 9 2 2 - 1 9 9 6 年
日本国公開実用新案公報	1 9 7 1 - 2 0 1 5 年
日本国実用新案登録公報	1 9 9 6 - 2 0 1 5 年
日本国登録実用新案公報	1 9 9 4 - 2 0 1 5 年

国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
X	J P 2 0 1 3 - 1 2 5 0 4 7 A （株式会社ゼンリンデータコム） 2 0 1 3 . 0 6 . 2 4 , 段落【0 0 1 4】 - 【0 0 6 8】 ,	1 , 4 , 6 , 8 - 1 0
Y	【0 0 8 9】 - 【0 0 9 0】、第1, 2, 7, 8 図 （ファミリーなし）	2 , 3 , 5 , 7
Y	J P 2 0 0 9 - 6 4 3 1 6 A （カシオ計算機株式会社） 2 0 0 9 . 0 3 . 2 6 , 段落【0 0 3 9】 - 【0 0 4 5】、第3, 1 2 - 1 4 図 （ファミリーなし）	2 , 3 , 5

☒ C 欄の続きにも文献が列挙されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの

「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの

「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す）

「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献

「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの

「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの

「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの

「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

1 4 . 0 5 . 2 0 1 5

国際調査報告の発送日

2 6 . 0 5 . 2 0 1 5

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁（I S A / J P）

郵便番号1 0 0 - 8 9 1 5

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官（権限のある職員）

野村 和史

5 E

4 8 7 4

電話番号 0 3 - 3 5 8 1 - 1 1 0 1 内線 3 5 2 1

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
Y	J P 2011-43898 A (株式会社東芝) 2011. 03.03, 段落【0034】-【0041】、第9-12図 (フ ァミリーなし)	7
A	J P 2014-52770 A (東芝テック株式会社) 20 14.03.20, 全文、全図 (ファミリーなし)	1-10
A	J P 2013-238646 A (東芝テック株式会社) 2 013.11.28, 全文、全図 (ファミリーなし)	1-10
A	J P 2013-105404 A (株式会社ゼンリンデータコ ム) 2013.05.30, 全文、全図 (ファミリーなし)	1-10